

悩み・苦痛の逆療法

第1部 解脱の真理の発見

(49) すべての偽善は良くないか

この項では、偽善には、次の三種類がある。

- (1) 善人ではないが、何らかの不純な目的を持って他人をだますために善行をする。
- (2) 全くの善人ではないが、善人になろうと努力して、善人であると自らを偽って善行をする。
- (3) 善人ではなく、悪い心を持っていることを自覚しているが、善を行うことが

自分の義務であると思い善行をする。

偽善者が非難される多くのケースは、前述の(1)である。キリストが、パリサイ派(厳しい律法を遵守するユダヤ教の一派)の人々を、キリストとしては他に例がないような調子で激しく非難したのは、パリサイ派の人々が、この(1)の種類の偽善、すなわち不純な目的を持って他人をだますために偽善をしたからなのである。この種の偽善は、救いようがない偽善だからである。

しかし、第二番目の偽善についても、多くの宗教家・道徳家が非難するものである。これを偽善として非難することは、やや酷な気はするが、重要なことは、この種の偽善をする人の心を救うのは、やはり困難なのである。悪い心を不自然に抑えて善人ぶってみても、その悪い心の苦痛は内攻するだけで、解脱することはできないからである。

これに関連して、浄土真宗の開祖親鸞の言語録である『歎異抄』は「善人なほもて往生をとぐ、いはんや悪人をや」と言っている。善人でも極楽浄土に行けるのだから、悪人はなおさら行けるということであり、一般の常識とかけ離れている。しかし、これはなかなか真理をついているのである。この言葉に続けて理由を述べているが、私流に現代訳にすると、次のようになる。「善人は自

力で善行を積み、救いを得る人であるが、他力(=仏)に頼る心が欠けているので、他力で極楽浄土に行くことはない。しかし、自力を捨てて他力に頼れば、善人も救われる。一方、悪い人は自力では善行も積めないが、他力をひたすら頼るならば、もっとも良く救われるのである」。

これは他力本願の真髓なのである。

この親鸞の場合の善人は、心からの善人であり、私の言っている第二の定義の偽善者とは違う。しかし、世の中に全く悪い心を持たない真の善人がいるとは思えないし、仮にいても例外的であろう。善人と言われる多くの方は、私の定義する「全くの善人ではないが、善人になろうと努力して、善人であると自らを偽って善行をする」人なのである。

この善人の救い、すなわち煩惱の解脱は、ドイツの哲学者カントの言うところの道德者なのである。カントは、「思えば思うほど美しいものは、夜空に輝ける星と我が内なる道德律である」と言った。彼の道德律というのは、「最も道德的なことは、自分の性向(性質上の傾向)から行うものではなく、義務感から行うものである」ということである。

これは、今、飢餓で苦しんでいる人がいるのを見て、金を寄付する行為を考えると分かる。ある憐みの深い人が飢餓で苦しんでいる人を哀れであると思ひ、寄付するのは、性向により行うものであり、道德的ではないのである。ケチな人が、本来、飢餓者に金を与えたくないのだが、自分は金銭的に余裕があるのだから、嫌だけれども自分の義務であるからと、金を寄付する行為は、なことに道德的であると言っているのである。ちなみに、カントはケチであり、高利貸であったという一説があるが、興味深いことである。

これは、道德の意義を厳しく定義したものであるが、全くの道德の真髓であり、極めて優れた見方なのである。しかし、煩惱からの解脱という点では、カントの道德律に欠落したものがあるのである。それは、性善悪である人間が、このような道德的なことをして、心の満足が得られるのかという点である。悪心を持っていながら、道德的なことをしたからといって、惜しい金を出した心の苦痛が癒されるかという点と、多くの方は、金が惜しいという煩惱は残るのである。道德的なことをしたのだから、ケチな心の苦痛は不合理なものであり、苦痛を感じずべきではないと論理的に自分を説得して、煩惱を抑えてみても、内攻して心の葛藤が起こるだけなのである。

論理的な西洋哲学の限界が、ここに露呈されているのである。いかに論理的に素晴らしいことであっても、感情的に拒否するものであれば、人生にとっての意義が薄いのである。従って、このケチな心の苦痛をしっかり意識し噛みしめ味わい更には強めなければ、心の救いはないのである。

この場合、この人は、悪心もありながら寄付するのであるから、その意味では偽善者である。しかし、正しい悟性に基づいた判断で、抵抗を感じながら憐みの情から寄付することは、まさにカントの道徳律にも合致する、素晴らしい行為なのである。そして、自らも煩惱から解脱できるのである。

これを短歌にすると、

嫌だけど 義務であるから 金出すは
偽善者なれども 道徳者なり

となる。